

第 2 回 S S H 学校公開「学術研究 I」プレ課題研究ポスター発表会

令和 7 年 9 月 9 日(火)13:10~16:50 に、体育館にて「学術研究 I」プレ課題研究ポスター発表会が行われました。1 年生保護者 40 名、学校関係者 13 名が参加し、1 年生がこれまで取り組んできたプレ課題研究に関するポスター発表を見学しました。プレ課題研究は、学術研究 I において年度前半に行われる活動であり、年度後半に始まる本格的な課題研究に向けて最低限身につけるべき知識を習得するための修行期間と位置づけられています。これまで生徒は、自らの興味関心に基づいた「問い」を立て、それに対する答えを見つけるべく課題研究活動に取り組んできました。

ポスター発表では緊張した表情を見せていましたが、観衆からの質問に真剣に答えるなど充実した発表活動を行うことができました。また発表回数が増えるにつれ、身振り手振りを加えた説明もできるようになり、プレゼンテーションのやり方も身につけることができた様子でした。



○当日の日程

13:10~ 13:40 受付(体育館)

13:40~ 13:50 開会行事

13:50~ 15:35 公開授業 1 学年プレ課題研究発表会

13:50~14:35 ポスター発表(1・5・6・8 組)15 分×3 回
(発表 5 分+質疑応答 5 分+聴衆移動 5 分)

14:50~15:35 ポスター発表(2・3・4・7 組)15 分×3 回
(発表 5 分+質疑応答 5 分+聴衆移動 5 分)

15:35~15:45 閉会行事

15:55~16:45 教員研修会(情報交換)



開会の挨拶をする蘆武教頭

仙台大学 助教 山口恭正先生の講評

ポスター発表会当日は仙台大学助教の山口先生が参観し、以下のコメントを頂きました。
「ポスター内容がダイナミックであり見応えがありました。ただし、ポスターが大きな原稿用紙となっている感がありました。また、研究についてはロジックが不明瞭なもの、内容が矛盾しているものが見られました。細かい言葉の定義にも気を配って下さい。そして聴衆からの質問が発表者を鍛えるということも頭に入れて、今後の課題研究に取り組んでほしいと思います。」



○発表した1年生の声

先輩方から多くの助言を受け、論理的研究・発表の基盤を学ぶことができた。正しい研究には細部への配慮が欠かせないことを痛感した。今回の経験を糧に、今後は研究の方法や発表の仕方を一層ロジカルにしていきたいと強く思った。

発表や他班の見学を通じ、自分の視野の狭さや詰めの甘さを痛感した。他者の意見を取り入れることで研究がより良くなると実感できた。今後は受け身でいるだけでなく、自ら積極的に質問や意見を発表し、研究を高める姿勢を持ちたいと感じた。

自分たちの班の発表で受けた質問や助言により、新たな気づきと共感を得て大きく視野が広がった。他の班の発表や質疑からも新たな発想を得ることができた。今回の発表会で得られた多様な学びを次の課題研究に積極的に活かし、より深い探究へとつなげていきたい。

1つの答えに定まらないテーマを扱い、班内で意見が割れて準備に苦労した。先輩から「聞き手を惹きつける工夫が必要」と助言を受け、一般論に終始した自分たちの発表を反省した。次は研究の動機や理由を明確に示し、納得感と興味をもたせる発表を目指したい。

発表や質疑で研究方法やレイアウトなど多くの改善点を得て、視野が広がった。特にポスター作成に関する助言は有益で、今後の研究活動に活かしたいと感じた。発表時は、前を向き、指で指しながら話す姿勢を実践できた点も収穫で、学びを次の発表に結びつけたい。

日常的なテーマを研究対象としたが、調査により多くの要因やデータが見つかり、意外な発見に繋がった。普段見過ごしがちな事柄も別の角度から考えることで新たな価値が生まれることを学んだ。今後も研究活動において柔軟な視点を持ち続けたい。

入念に準備したつもりでも想定外の質問や助言を多く受け、自分の知識や発想の狭さを痛感した。助言はどれも納得できるもので、研究の視野を広げる貴重な刺激となった。今回の発表会は自分を見直すきっかけとなり、非常に有意義な学びの場となった。

○ポスター発表会に先立って行われたクラス発表会の様子

クラス発表会では、実際の発表を通じて改善点を見出し次に活かそうとする姿が多く見られた。研究の内容やポスターの見やすさへの指摘が多かった。発表者は原稿に頼る傾向があり、先生方から「情報過多」「調べ学習にとどまる」との講評もあった。全体的に円滑に進行し、意見交換を通して修正に向かおうとする姿が見られた。雰囲気は明るく質問も活発で、印象的な発表もあった。今後は練習を重ね、より聞き手を意識した発表へ高める必要がある。



【編集後記】

今回の編集を通して、一年生の生徒それぞれが自発能動の精神でポスター発表会に臨み、質疑応答や様々な方からの意見を通して多くの学びを得られていたことを知った。生徒から集めた感想もよく考えられていた。ここで得た経験をこれからの研究活動に活かしていってほしい。